

「メイド・イン・北海道」のロケットが、宇宙を飛ぶ寸前まで来ている。赤平市の植松電機が北大と共同で開発中の「カムイ」。実用化されれば、宇宙産業のすそ野を広げると期待されている。

本業は建設機械用電磁石メーカー。社員20人の町工場が、なぜ宇宙？事業を牽引する同社専務の植松努(43)は言う。「どうせ無理」という言葉をこの世からなくしたいから」

中3の進路面接。「将来は飛行機かロケットの設計を」と植松が言うと、教師は「お前の頭じゃ無理だ」と突き放した。

苦い記憶がロケットと結びついたのは6年前。地元経済団体の行事で札幌近郊の児童養護施設を慰問した時のことだ。虐待を受けた子供たち

北海道ひと紀行

① 夢は果てなく

「無理」という言葉なくしたい



植松電機 植松 努



▲小僧com 平松 庚三



▶スパークスグループ 阿部 修平

の過酷な現実を目の当たりにし、思った。「子供の希望や未来を奪う最も象徴的な言葉。それが大人が言う『どうせ無理』ではないか」と。

植松は北見工大卒業後、念願の航空関連企業で働いたが、5年で辞め、運営する「小僧com」(ニティーサイト)を立ち待っている。

初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

挑戦は、そして始まった。初の一一般公募型の宇宙旅行に応募。数年後の旅立DNAの証しだから」モン/堀江貴文が逮捕された後のライブドア社長を助けた。

言葉通り、安住せず常れた後のライブドア社長を助けた。

函館市出身。午後3カ月に未開拓の地を歩いてを務めた。

小僧comは2年前から経営。瀬戸内海のある島で、元気なお年寄りがあった。帰国して1989年にスパークスを創業。者を訪ねた。

50、60代はハナタレ「独立系ファンドの雄」小僧と口にする聞き、へと育てた。

社名にした。団塊世代のファンドという最近「小僧」たちが集い、榮社長は何度も務めたが、自ら起業したのは人生初。長年の夢だった。「人間、水と空気がけじめや生きたらいい。夢がなからず。次の夢が、宇宙である。」

産運会社「スパークスグループ」(東京)社長、阿部修平(55)の夢も、はるか高いにある。目指すのは「二世を引き出す」正直、誠実な株主像。阿部が追求する世界一の「信頼、尊敬」はその延長線上にある。(敬称略)

激動する日本経済。企業を率い、時代の荒波に挑む人たちがいる。第2部は北海道ゆかりの経営者を訪ねた。